

私の履歴書

釜本 邦茂

⑭

点は本当に気持ちを楽にしてくれる。2点目は杉山隆一さんのクロスを生足でたたいた。シヨックだったのは八重樫さんが相手のラフプレーで右膝靱帯を断裂したこと。35歳、八重樫さんの最後の五輪はここで終わった。

正さんが滑り込んで決めた。空中戦で直接シュートを狙えない時はゴールエリア長辺とPKマークの間にボールを落とす約束事を遂行できた。

日で高地の戦い。B組2位には移動なしでアステカにずっと居座れる恩恵もあった。3位転落のリスクも考慮、ブラジル対ナイジェリアの経過も気にしながらの戦い。長沼健監督は73分に湯口栄蔵を伝令として投入する。「健さんが引き分けでええから点を取るなど言うてまっせ」。こんな命令を受けたのは後にも先にもこれっきりだ。

西ドイツ留学から帰ってきたし、私への伝言を託したそう。だ。「これまで対戦したFWで一番手ごわかった」と。メキシコ五輪にはこの4年で培った自信を携えて乗り込んだ。9月22日に羽田をたっ

78分に八重樫さんに代わってFW桑原素之さんが入り、私は中盤に下がった。この位

万全の態勢次々に得点

スペインと引き分け8強に

メキシコ五輪

日本リーグ開幕戦

(1968年4月13日)

でゴールに背を向けた状態から振り向きざまに20秒のシュートを決めた。

試合開始20秒の早業だった。5月23日、イングランドのアーセナル戦で会心のダイビングヘッドを決めた。岡野俊一郎コーチが羽田に一行を見送りにいくと北アイルランド代表のテリー・ニールが空港玄関からわざわざきびすを返

て米国で時差調整、30日にメキシコ市に入った。初戦のナイジェリア戦は10月14日。高地に体を慣れさせ、11日に1次リーグが行われるプエブラに着いた時、珍しく体のどこにも不安が一切なかった。

いきなりナイジェリア戦でハットトリックをした。1点目は左からの八重樫茂生さんのクロスを生足で流し込んだ。FWにとって最初の1

ながら私が頭で落とし、渡辺



メキシコ五輪での左足シュート＝フォート・キシモト提供

2勝でB組首位スペインと1勝1分けで2位日本の戦いは互いが勝ちを譲ろうとする妙な試合になった。準々決勝の相手A組の順位は1位フランス、2位メキシコで確定済み。B組の両チームは地元メキシコと戦う1位を欲してい

なかつたのだ。全試合が中1

なかつたのだ。全試合が中1

なかつたのだ。全試合が中1

なかつたのだ。全試合が中1

なかつたのだ。全試合が中1

なかつたのだ。全試合が中1

なかつたのだ。全試合が中1